

(別添7)

事業所名 グループホームめずらハウス

2 目標達成計画

作成日: 平成24年 2月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、現状では口頭での説明のみにとどまっており、入居者・家族との関係を重視するうえでは、改善が望まれること。	口頭のみではなく、書面を作成し、入居者・家族の安心を得ることで、入居者・家族とグループホームの信頼関係をより深めていく。	重度化や終末期に向け、双方が理解しあえるよう口頭で希望を確認する。また、契約時の契約書、重要事項説明書等に内容を明記する。(なお、介護保険の改正があるので、その際の契約書、重要事項から反映させていく)	3ヶ月
2	1	変更の必要性があるわけではないが、現在の基本理念はめずらグループ共通のものであり、グループホームとしての理念を作成することで、職員全員がさらに、理念共有を図っていると良い。	現在の基本理念とは別に、グループホームとしての基本理念を作成する。	職員会議時に、職員個々に対してグループホームの基本理念をレポートにまとめてもらい、それを元に作成していく。	1ヶ月
3		遠方の家族などが来所された際に、新しい職員の名前が分からず、声をかけづらいことがある。	距離に関係することなく、家族の方々が気兼ねなく声かけをできる環境作りに励んでいく。	玄関入り口に職員紹介のボードを設置する。また、職員個々にも大きめの名札をつけるように指示する。また、新しい職員が入職した際は、書面で家族に対してお知らせをする。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。